

ホステリングマガジン vol.28 / 2022 Spring

JAPAN  
Youth Hostels, Inc.

# H<sup>OSTELLING</sup> Magazine



Cover Interview

## 樋口日奈

思い切って踏み出した一歩で、  
世界が一気に広がった。

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



やっぱり私は、  
ランチパック!



小芝風花  
meets  
ランチパック

おいしいマイスタイル  
ランチパック

# 乃木坂46

10th Anniversary BEST ALBUM

# Time flies



## 完全生産限定盤

(3CD+Blu-ray+豪華フォトブックレット)

品番：SRCL-12020～12024

価格：8,500円(税込)

収録 Blu-ray

"10th Anniversary"  
Documentary Movie  
「10年の歩み」



## 初回仕様限定盤

(3CD+Blu-ray)

品番：SRCL-12025～12028

価格：7,000円(税込)

収録 Blu-ray

「最後の Tight Hug」 Music Video  
「歳月の轍」 Music Video  
「あなたからの卒業」 Music Video  
「Hard to say」 Music Video  
「しかちゃん・もっちゃんの動画」



## 通常盤

(Disc1 + Disc2)

品番：SRCL-12029～12030

価格：3,500円(税込)

★完全生産限定盤 / 初回仕様限定盤 共通封入特典★

- ・応募特典シリアルナンバー封入
- ・メンバー生写真ランダム封入





こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。

日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

※本誌の情報は2022年2月20日現在のものです。  
変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会  
編集・発行人 寺島 眞

TEL. (03)5738-0546

〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1

国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

## Line up

### 02 Cover Interview

樋口 日奈

思い切って踏み出した一歩で、世界が一気に広がった。

### 08 Youth Hostel Pick up

飛騨古川ユースホステル

スケジュールを決めすぎない、余白を楽しむ旅を

### 12 Hostelling Magazine × 地球の歩き方

そろそろ旅の準備を始めよう!

台湾

### 16 Sustainable Tourism

### 18 LiLiCoの映画で世界を旅しよう!

### 19 おしえて! 旅GIRL

### 20 松鳥むうの晴れときどき旅びより

### 22 YOUTH HOSTEL LIST

思い切って踏み出した一歩で、  
世界が一気に広がった。

Hostelling Magazine Cover Interview

# Hina Higuchi

樋口日奈

## PROFILE

乃木坂46  
樋口 日奈 (ひぐち ひな)

乃木坂46一期生として加入。テレビ番組 TVA/TX「乃木坂工事中」、MX「小峠英二のなんて美だ!」、TBS系「ラヴィット!」(2021年10～12月)レギュラー出演やファッション誌「JJ」専属モデルで活躍するほか、舞台では「フラガール」主演、「タクフェス春の Comedy祭『仏の顔も笑うまで』」、「SHOW BOY」など経験豊富で、最近ではフジテレビ系SPドラマ「教場II」に出演するなど女優としても活躍中。4/12には念願の1stソロ写真集が光文社より発売される。

## 次の審査に進めば進むほど、 「受かりたい」という想いが募っていった

— 2022年2月22日で乃木坂46の1stシングル『ぐるぐるカーテン』でのCDデビュー日からちょうど10年ですね。10年前というと、樋口さんは当時中学生ですよね？元々はアイドルを志望ではなかったと伺ったんですが本当ですか？。

そうなんです。デビューした時は13歳で、お姉ちゃんの影響でモーニング娘。さんは知っていたんですけど、私は7歳からヒップホップのダンスを習っていて、アイドルのダンスとはかけ離れたジャンルだったので、自分がアイドルグループのメンバーになるなんて想像すらしてなかったんです。乃木坂のオーディションが開催されることもそのダンスの先生に教えていただいて、「受けるだけならタダだし！」と思って応募しました(笑)。その時は受かると思ってなかったのが本当に何となく、「どこまでいけるか」ぐらいの気持ちでオーディションに参加したんですけど、私も負けず嫌いなところがあるので、「落ちるか落ちないかだったら落ちたくない！」という気持ちが審査が進むにつれてどんどん湧いてきて、最後は「絶対に受かりたい！」って思っていましたね(笑)。

## 芸能活動と学業の両立を支えてくれた クラスメイト達の存在

— 第1期生のメンバーに選ばれた時はどんな心境でしたか？

正直に言うと、「受かっちゃった、どうしよう…」という気持ちでした。通っていた中学校はずっと行きたかった中高一貫校で、塾にも通わせてもらって受験して入ったところだったので……。当時入っていた吹奏楽部の顧問の先生が礼儀にすごく厳しくて、ちゃんと辞める理由や目標を説明しないと許してもらえない方だったんです。なので「退部を伝えたら叱られちゃうだろうな」という心配もあって。愛情の深い先生なので、辞め癖が付いたら教え子のためにならないという想いがあったんだと思います。退部したいと伝えた時、先生にはとても厳しく言われて泣きましたけど、今では「芸能界に入る前に厳しい指導を受けることが出来て良かった」と思っています。

— 合格した後も大変だったんですね…。

合格してから高校を卒業するまでの学業との両立は大変でした。進学学校だったので周りの子たちは本当にみんな頭が良くて、ついていくのが大変で…。家族とは「高校卒業まで同じ学校に通うこと」と約束していましたし、学校からも「芸能活動は部活動と同じ」と言われていたので、勉強も乃木坂もどちらも頑張らなきゃ……。でも当時のクラスメイトがみんなすごく優しく、お仕事の都合で学校を休んでしまった日の次の日に、ノートのコピーを机に置いておいてくれたり、疲れて昼休みに眠ってしまった時は、授業が始まる時に隣の子が起こしてくれたり(笑)。周りのみんなのおかげで乃木坂と学業を両立することができたと思っています。

## 辞めたいと思ったことは 1度たりともなかった

高校卒業後は大学への進学も視野に入れていたんですけど、先生と何度か話すうちに「乃木坂の活動に集中してもいいのかな」と思うようになって、「進学しないで乃木坂に集中する」という決断をしました。私はずっとアンダーの3列目とか後ろの方だったんですけど、高校を卒業して乃木坂のことを考える時間が増えたタイミングでアンダーのセンターを初めて任せてもらって。一気に「楽しい！」って思えるようになりました。結果として、乃木坂のお仕事一本に絞って良かったと思っています。今、学業と両立している年下のメンバーもいるので、見ていて大変さがすごく分かるんです。どちらも頑張っているつもりでもなかなかできないもどかしさとか、「明日までにやらなきゃいけない課題があって…」って話を聞くと、「きっと頭の中は今課題でいっぱいだろうな」とか……。 (笑)。そんな時には、「今は大変だけど、絶対この後楽しくなるから頑張る！」って声をかけています。お母さんの気分です(笑)。「体調だけは気をつけなよ！」って。

— 樋口さんはこれまでに「乃木坂46を辞めてしまいたい！」って思うことはなかったんでしょうか？

それが今まで一度もないですよ！疲れていたり、納得のいく結果を出せなかったりしてお母さんに当たっちゃうこともあったんですけど、「辞めたら？」って言われても、「辞める」って言わない自分がいて。本当に乃木坂を続けたいんだって自分でも思うんです。

— ここまでお話を伺っただけでも、樋口さんの負けず嫌いっぷりを感じます！

自分に負けるのが本当に嫌なんです、ずっと前から(笑)。学校のマラソン大会も、どんなに辛くても絶対立ち止まりたくなくて。「意地でも止まらないぞ！」って(笑)。自分で勝手に自分と戦っているというか、常に自分に負荷をかけていたんですね。

## 乃木坂46は、お互いの仕事を認め合い、 褒め合えるあたたかいグループ

— 高校を卒業されてから活動の幅も広がってきて、雑誌の専属モデルやドラマ出演の他、バラエティ番組へのレギュラー出演も増えていますよね。

乃木坂の冠番組(『乃木坂って、どこ？』)をいただいたのが私も含めたメンバー全員にとっての初バラエティ番組だったんですが、以前はバラエティ番組に出るのが本当に苦手で、「できるだけ私に振らないでほしい……」って思っていたんです。「何か面白いことを言わなきゃ！」とか「爪痕残さなきゃ！」とかすごく考えていたんですけど、逆にそれが空回りの原因になってしまっていたんでしょうね…。でも、最近やっと楽しさを感じられるようになってきて、「何も考えずにただ楽しもう！」って思えるようになってからは、気を楽にして臨めるようになりました(笑)。



— 活動の中で悩んだ時に、相談相手としてよく話すメンバーはいますか？

やっぱり同期ですね。今は1期生の和田まあちゃんや秋元真夏ちゃんと話すことが多いです。1期生はみんなそれぞれ、飛鳥(齋藤飛鳥)はモデルだったり、12月に卒業した生ちゃん(生田絵梨花)は舞台だったり、色んな場面で活躍しているので、ひとつのことを相談すると色んな分野で切磋琢磨している人の意見や考え方が聞けるので、すごく面白いですね。

— 「このお仕事はこの子が得意だから聞いてみよう」ということができるのは、乃木坂46ならではですよ。以前、卒業メンバーの深川麻衣さん(vol.13)や堀未央奈さん(vol.26)もHostelling Magazineでインタビューさせていただいたのですが、みなさんのお話を聞いて、すごくメンバー間の関係性が素敵だなと思いました。

そうなんですよ～！本当に仲良しなんです。みんなでよく「○○が出ていたあの番組見たよ！」とか、他のメンバーにきた大きな仕事をみんなで喜び合ったりとか。私が以前、ドラマの『教場Ⅱ』に出演させていただいた時も、放送中に「今見てるよ～」ってメッセージを送ってくれたり。本当にあたたかい雰囲気なんです。

— オフの日にメンバーと一緒に過ごすこともあるんですか？

和田まあちゃんはプライベートで一緒に過ごすことが多いですね。2人とも好きな洋服のブランドが一緒だったりして趣味が合うんです。この間も仕事帰りに一緒に洋服屋さんへ行って、その後まあやのお家で卒業生の桜井玲香ちゃんが出演している映画と一緒に観たりしました！あとは、同い年で2期生の相楽伊織ちゃんと江ノ島に2人で行ったりもしましたね。私、旅行とかお出かけする時にはきっちり情報を調べて、予定を決めたいんです。その時は伊織は「任せるよ」って言ってくれたので、電車の時間とかも事前にちゃんと調べて予定を立てて、旅のしおりを作って(笑)、当日の朝「今日はこの予定で出かけよう！」って渡したりしましたね。

## 一人旅の背中を押してくれたメンバーのひと言

— 準備も旅の楽しみのひとつですよ！旅行にはご家族やお友達、メンバーなど、色んな方と行かれることもあると思いますが、一人旅もお好きそうですね。

大好きです！！旅行は基本一人で行くことが多いですね。一人で韓国に行ったこともありますよ！私は旅行のガイドブックを読み込むのが好きなんですけど、その時は韓国の本を2～3冊いつも現場に行くカバンに入れて、自分が行きたい場所にマークをつけて、パスポートも持ち歩いていました。それで、ある日「今だ！」と思って。スマホで航空券を取って、仕事帰りにそのまま……。

— え？思い立って仕事帰りに韓国に行っちゃったんですか？

はい、行きたい場所はもうガイドブックで把握していたので(笑)。その時は弾丸旅行だったので現地で使えるWi-Fiとかも借りずに、ガイドブックを片手に目的地を巡ったんですけど、ガイドブックだけでも全然問題なくて、「インターネットに頼らなくても意外と行けるんだ！」って思いました。

乃木坂に入ってからは、新幹線も飛行機も全部マネージャーさんがチケットを取ってくださっていたので、空港ではチケットの発券の仕方すら分からず、「なんて自分は世間知らずだったんだろう」って(涙)。でも、いざ自分一人でやらないといけない場面になって、実際にやってみると、すごく簡単にできたんです。この旅がきっかけで、私の中で「何でも一人でできるんだ！」って自信にも繋がりました。新しくできることが増えるって嬉しいですね！

— ちなみに、韓国に行く時はマネージャーさんには事前に

言わなかったです(笑)。お母さんにも事後報告で。



—樋口さんの「今だ！」って感じた瞬間、何が最後に樋口さんの背中を押したんでしょうか？

その時は飛行機って何が起きるか分からなくて乗るのが怖いな、っていう漠然とした不安があったんですけど、メンバーに「また韓国の本読んでるの？もう早く行っちゃいなよ！行った方が早いから、そんなに読み込まなくてもいいよ」ってすごく言われていて(笑)。「飛行機は怖いからなるべく乗らないようにしましょうと思ってるんだよね」って言ったら、当時いたメンバーでよく旅行に行っていた斉藤優里ちゃんから「その時はその時！それはもう運命なんだから！」って言われて、「確かになあ。あんまり怖がっていても何もできないな。」って、そのひと言で「あ、行ってみよう。今だ！」っていう気持ちになれたんです。

—韓国ではどんなことをされたんですか？

深夜の飛行機に乗って朝早く現地に着いたので、本に載っていた早朝からやっているお粥屋さんに行って時間を潰して、お店のおじさんと喋ったりして(笑)楽しかったです！その後、カロスギル(※)に行ったんですけど、お店がまだ全然空いていなくて、2時間ぐらいコンビニに入ったりして散策してから、お目当てのお店に開店と同時に行きました。もっと韓国に詳しい子と一緒にいったらまた違う楽しみがあったと思うんですけど、私は勢いで行ったので、本当にずっとブラブラしてましたね(笑)。

—初めて行く場所って、ただ歩くだけでも楽しいですよ。

楽しかったです！朝から働いている人もこんなにいるんだなあって、その土地で暮らす人達の生活が垣間見えました。

—「ガイドブックを読み込む」っておっしゃられてましたけど、旅行の情報はどうやって集めますか？

私は本や雑誌を買って見る方が好きですね。もちろん、スマホでも色々調べるんですけど、やっぱり“本は絶対に消えないもの”という安心感があって。電波がなくても大丈夫ですし。

—電波がない時の不安感ってありますよね(笑)。

韓国に着いた時も、スマホが繋がらなくて少し不安でした(笑)。でも、一人で思い切って韓国に行って、周りに誰も知り合いがない状態で、インターネットに頼らず自分一人の力で行動するのがすごく新鮮で楽しかったです。「全然言葉が通じなくてもどうにか通じるもんだな！」って(笑)。

この韓国一人旅がきっかけで一人旅にハマってしまって、国内だと北海道に一人で行ったりもしました。北海道はあまりプライベートで行ったことがなくて、「冬の北海道に行ってみよう！」と思い立って軽い気持ちで行ったらすごく寒くて(笑)びっくりしました。その時は雪もすごく、さすがに雪の中で「寒いねー！」って言い合える人がいないのは寂しいなって思ったんですけど、すごく充実感がありましたね！あ、その時も、お母さん達に事後報告でした(笑)。「お土産のカニが届くから！」って(笑)。

—今はなかなか遠くに旅行に行ったりするのは難しいと思いますが、次に行くならどんな場所に行きたいですか？

※江南地区・新沙洞にあり、オシャレなショップやカフェが並ぶソウルの流行の中心地ともいえるエリア

SNSを見ていたら、日本の中でもまだ行ったことのないすごく素敵な場所がいっぱいあるんだっていうことに気付いたんです。なので、最近は日本の絶景がたくさん紹介されている雑誌を読んだりしています。もちろん海外にも行きたいんですけど、コロナが落ち着くまでは日本国内を巡って楽しみたいです。せっかく日本人だから、気になる場所を全部網羅する勢いで！

— そうですね、バイクの免許を取得されたそうですね。

そうなんです、取りました！教習所に通う時間も限られていたので、お仕事の合間を縫って、一回で合格出来るように準備して。まだ自分のバイクを買ったりはしていないんですけどね。バイクでいつかいろんなところに行けたらカッコいいな、と思っています。それこそ、一人で気軽に色々な場所に出かけられたらいいな。プライベートで乗るのは危ないって言われたんですけど(笑)、お仕事だったらいいかなと思って。バイク旅のお仕事ができたら面白そうですね！

## 一步思い切って外に出たことで、新しい目標がたくさんできた

— 乃木坂46はファンとの距離が近いグループでしたが、2020年の2月頃からのコロナ禍は、樋口さんや乃木坂46、ファンの方にどんな変化がありましたか？

コロナが流行り始めた頃は、数ヶ月間メンバーにも会えなかったんです。久しぶりに会った時には嬉しくて涙が出ましたね。2020年12月のアンダーライブを武道館でやった時は、お客さんが入った状態で開催したんです。その時に、影ナレ(※)中に、歓声の代わりにお客さんが鳴らしてくれるスティックバルーンの

音が聞こえてきた時に、涙が出ました。それまで当たり前だったファンの方との交流がこんなに嬉しいんだって。そういうことを気づかせてくれた機会にもなりました。

— 今後やってみたいことや挑戦してみたいことはありますか？乃木坂46での活動もですし、ご自身の卒業のことももしかしたらいろいろ考えていらっしゃるのかな、と。

乃木坂46からの卒業についてはあまり考えていなくて。私は13歳から参加したので、26歳になったら乃木坂として活動した人生の方がそれまでの乃木坂じゃない私の人生よりも長くなるんです。ここまできたらそこまで頑張りたいなって思っています。デビューして10年経って、「今が一番楽しい！」って思っているので、もうちょっと乃木坂でこの楽しい日々を味わいつつ、一人になった時にも勝負できるように、自分の強みや武器を用意したいなって思います。バイクの免許を取ったのもその一つです。演技のお仕事をもっと頑張りたいなって思いますし、やりたいことはいっぱいありますね！

— 最後に、読者に向けてメッセージをお願いします。

私もそうだったんですけど、一步思い切って外に出てみたら、「こんなに世界って広くて大きいんだ！」って思ったり、「こんなに色々な人がいっぱいいるんだ」という安心感や「自分一人で色々できるんだ」という自信に繋がるんですね。だからこそ、「まずは一步外に出てみる」というのは大事だと思っていました。私は韓国一人旅がきっかけでお母さんをもっと旅行に連れて行きたいと思ったり、免許を取りたいって思ったり、そこからまた派生して色々な目標が自分の中でできました。旅は、自分の幅を広げてくれたり、頑張るための「素(もと)」を作ってくれるものになって思います。

※舞台には立たないで、観客の見えないところからナレーションをすること

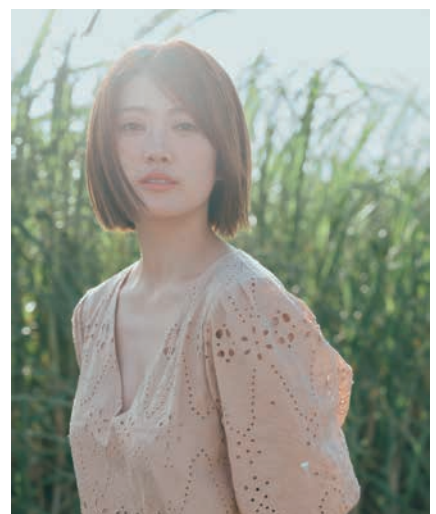
## 樋口日奈 1st 写真集が 4/12 発売決定！

乃木坂 46 生活 10 年、包み隠していた美ボディをついに解禁！  
撮影地は初めての沖縄県久米島と京都、そして東京の 3 都市。  
2022 年 1 月 31 日の誕生日で 24 歳を迎えた彼女のすべてが詰まった一冊になっています。是非、お手に取ってご覧くださいませ！

■書名：乃木坂 46 樋口日奈 1st 写真集 (タイトル未定) 光文社刊行 ■発売日：4月12日 (火)  
■定価：2,200円 (税込) ■判型：A4 型ソフト (※予定) ■内容：144 ページ (※予定) ■ISBN：978-4-334-90295-7  
<特典>両面ポスター1枚 (全4種)  
※通常版とは別に、楽天ブックス、セブンネット、紀伊國屋 (新宿本店・梅田本店・札幌本店・福岡本店・WEBストア) での書店限定版も発売。

写真集公式 SNS

  @higuchihina\_1st\_ph



撮影/前 康輔

## 樋口日奈さん直筆サイン入り色紙 抽選で1名様にプレゼント！

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用申し込みフォームから！

<http://www.jyh.or.jp/hm/>

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます

応募締切 2022年4月末日



つづきをダウンロード(無料)



Hostelling Magazine vol.28  
まとめてダウンロード



LiLiCoの映画で世界を旅しよう！…… P18



Cover Interview …… P02

樋口 日奈  
思い切って踏み出した一歩で、  
世界が一気に広がった。



おしえて！旅GIRL …………… P19



Youth Hostel Pick up …………… P08

飛騨古川ユースホステル  
スケジュールを決めすぎない、余白を楽しむ旅を



松島むうの晴れときどき旅びより …… P20



Hostelling Magazine x 地球の歩き方 … P12

そろそろ旅の準備を始めよう！  
台湾



YOUTH HOSTEL LIST …………… P22



Sustainable Tourism …………… P16

発行所：一般財団法人日本ユースホステル協会  
編集・発行人 寺島眞  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
※本誌の情報は2022年2月20日現在のものです。  
変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。  
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。